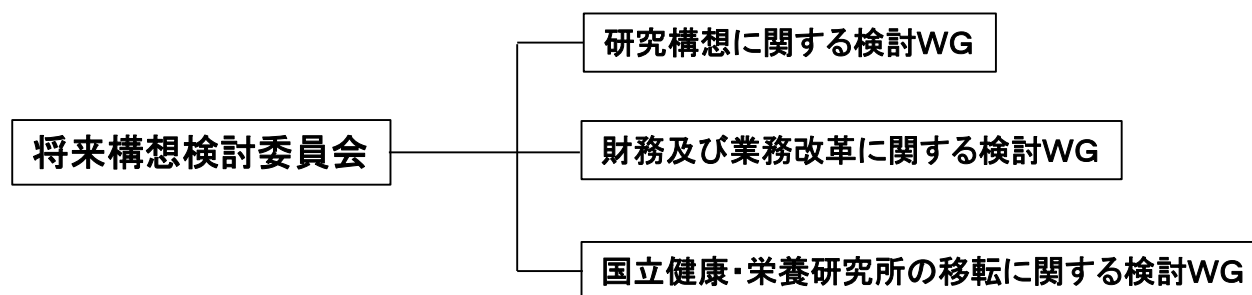


「将来構想検討委員会」について(概要)

委員会の趣旨： 研究所の業務運営全般に関する将来構想を検討するために設置。

検討体制： 3つのワーキンググループを置いて実務的に検討を行っている。



○ 昨年より、医薬基盤・健康・栄養研究所が進むべき方向性、ビジョンを明確にし、成果の最大化につながるよう検討を行い、本年4月から組織の見直しを行った。

○ また、研究の評価、外部連携・財政・知財等の業務のあり方等について検討を行い、今後実施する取組及び将来的な課題を本年9月に取りまとめたところである。

医薬基盤・健康・栄養研究所の新組織



<組織見直しの基本的考え方>

- ◆ 医薬健栄研が進むべき方向性、ビジョンを明確にし、成果最大化につながるよう組織の見直し。
- ◆ 政策支援業務から社会的ニーズを読み取り、政策提言に繋がる研究に昇華すべく、体制の強化を図る。

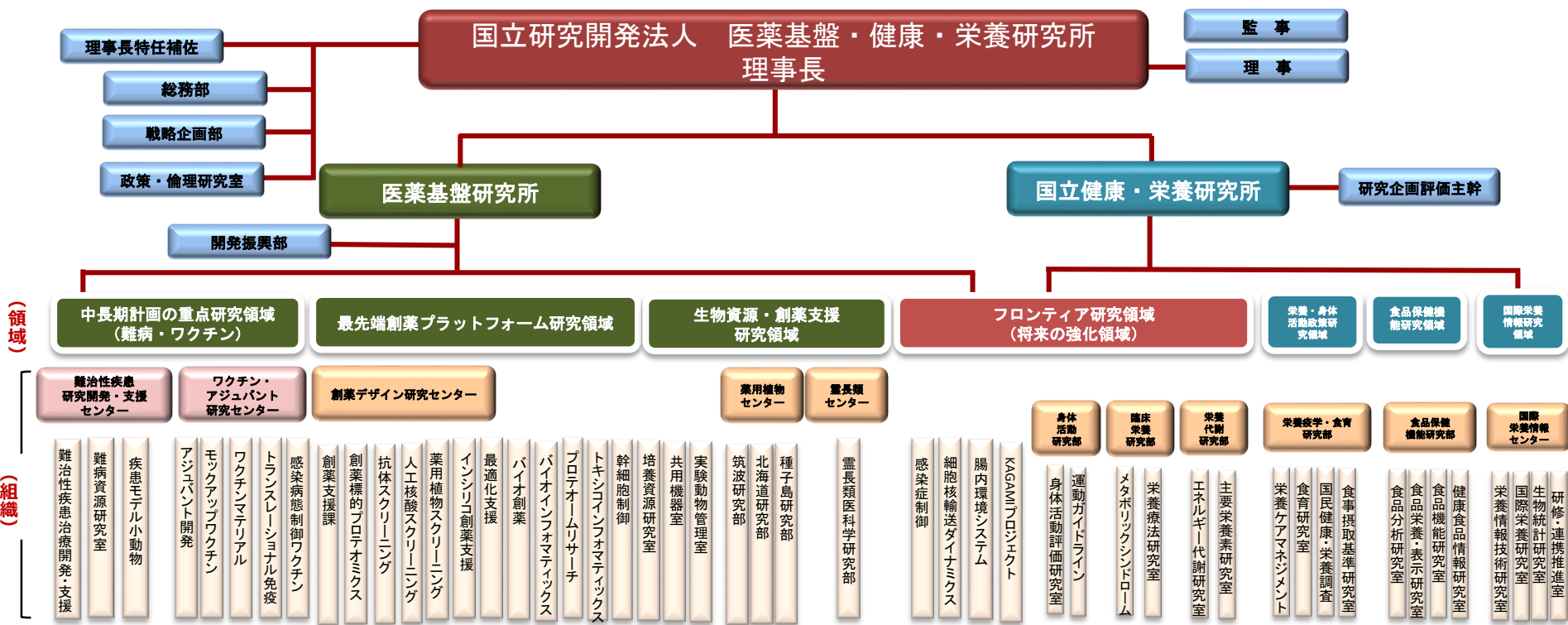
ポイント

- ① 中長期計画達成に向けた組織強化
- ② 将来の重点化が期待できる研究領域（フロンティア領域）の強化
- ③ 創薬基盤プラットフォームの更なる基盤整備と強化
- ④ 外部資金、競争資金獲得に向けた外部機関との連携強化
- ⑤ 将来の研究管理職の人材育成も視点に研究所運営体制の強化
- ⑥ 健栄研大阪移転に向けシナジー研究実施体制の強化

概要

1. 研究領域や研究機能別に明確化できる組織
2. 両研究所間でシナジー研究を推進する組織
3. 現在の重点研究領域の強化と将来の重点研究領域の育成を目的とした組織
4. 運営体制の強化を目的にスタッフ部門や事務部門の連携が図れる組織
5. 外部から見てもイメージしやすく、メッセージ性のある組織

医薬基盤・健康・栄養研究所の新組織



センター化の目的

- ・センター化することで、研究のスピードアップを図り、中長期計画を達成する。
- ・外部連携を今まで以上に強化するため、外部からわかりやすい名称とする。

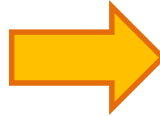
フロンティア領域

- ・5年先10年先の研究所のコアとなる新しい研究領域を育成する。
- ・それを促進する具体的な施策の一つとして基盤研・健栄研のシナジー研究を進める。

平成29年9月に将来構想検討委員会が取りまとめた内容(当面の取組)

○研究構想関係

検討事項
1. 漸減する研究運営費の配分のあり方
2. 外部資金獲得に向けた強化策
3. 外部連携に向けた強化策
4. 研究所スペースの均衡バランスの確保



まずは以下のような取組を実施し、所内の研究体制強化を計る。

- ・研究運営費配分の見直し、配分資金の用途適正化
※配分へ研究成果を反映、新規研究への支援金確保、改廃検討委員会設置 →配分への的確なインセンティブ付与
- ・外部資金獲得も視野に置いた外部連携等の取組
※企業との包括連携会議の全所的展開、大学との連携大学院の体制の再構築、6NCとの定期的情報交換会開催
→共同研究へ導出、人材育成や効果的な連携体制による外部資金獲得
- ・共用スペース・機器の有効活用
※研究スペース等の確保とその運用について全所的な検討の開始

○財務・業務改革関係

検討事項
1. 会計財務業務の改善に向けた施策の実施
2. 知財に関する対応の強化
3. サイバーセキュリティなどIT対応の強化
4. 災害対策の充実などその他の課題



まずは以下のような取組を実施し、所内の財務・業務体制強化を計る。

- ・総務部会計課内の人員、業務遂行方法の見直し
※専門員3名を採用予定(8月より公募)、会計システム入力方法の改善
- ・所内の知的財産の現状確認、相談体制の確立
※所内の知的財産の状況把握、「知財相談シート」配布による相談体制の確立、知財研修の実施、強化
- ・所内セキュリティ体制の実態調査、職員への研修
※パソコンOS、ウイルスソフトの状況等の実態調査、職員の意識向上に向けた段階的な研修の実施
- ・災害時の備蓄品の更新、業務継続計画の策定